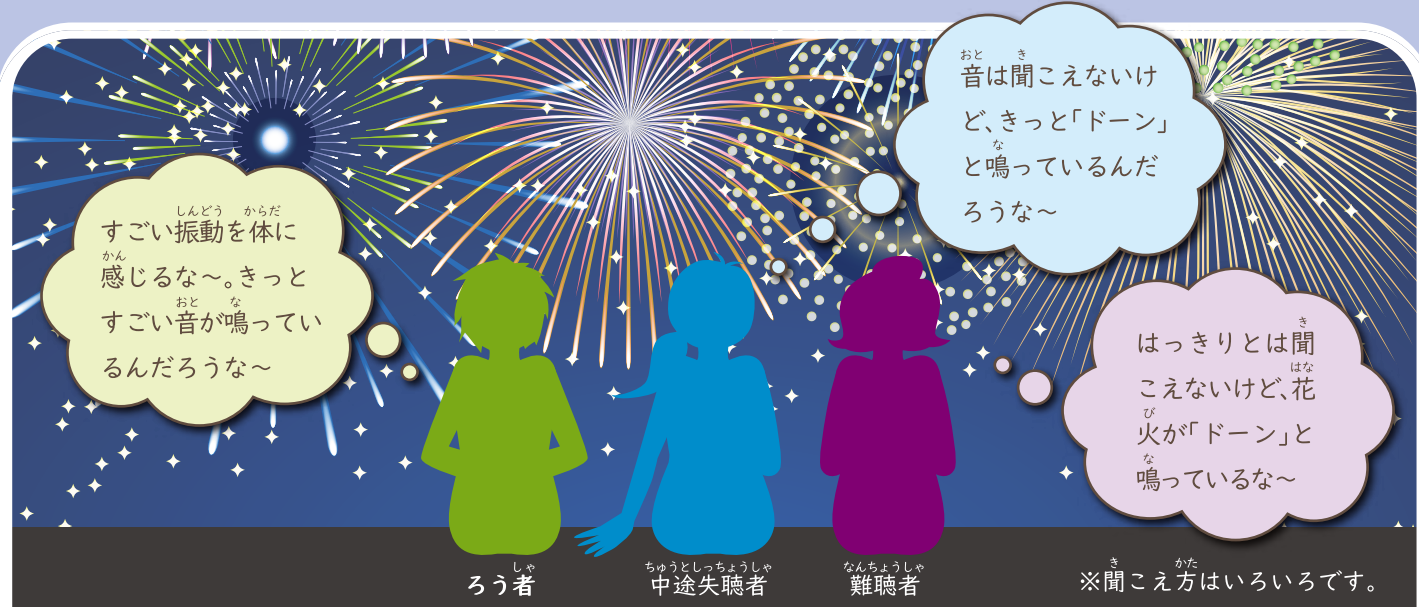


はなび き かた 花火も聞こえ方はいろいろです



～ろう者～
 生まれつき耳が聞こえない人や日本語を覚える前に聞こえなくなった人です。主に手話で会話をします。
 ろう者は、音を聞いたことがないため、花火の音を想像することは難しいですが、花火の音を体で感じることができます。

～中途失聴者～
 生まれた時は聞こえていたが、事故や病気などが原因で聞こえなくなった人です。声を出して話すことはできますが、聞くことができません。主に筆談で会話をします。
 中途失聴者は、花火の音は聞こえませんが(体で感じることはできますが)、音を聞いたことはあるため、花火の音を想像することができます。

～難聴者～
 生まれつきであったり、事故や病気が原因で特定の音域や音全体が聞こえにくくなった人です。ある程度声を出して話すことができ、聞くことも可能です。主に筆談や口話で会話をします。補聴器を付けている人もいます。難聴者は、ある程度聞こえるため、花火が大きな音を鳴らしていることはわかります。

※聞こえの程度によって明確に定義されているわけではありません。

～ろう者の歴史～
 ろう者は、差別による苦痛を受けてきました。例えば、学校や家庭で手話を使うと、きびしくしかられたという悲しい過去がありました。昔のろう学校^{※1}では、耳が聞こえない子どもたちは、聞こえる人と同じようにするため、口の動きを読み取り、口の形と音声による発話をして、手話を使わないようにする教育を受けていたからです。
 最近でも、聞こえないことが理由で選べない職業^{※2}があるなど、聴者^{※3}には当たり前前の権利が、ろう者には認められていないことが少なくありません。

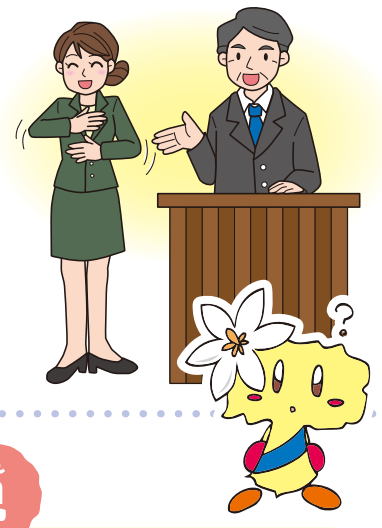
※1 ろう学校…聴覚に障がいのある幼児・児童・生徒に教育を行う学校。
 ※2 例えば、平成27年まで、ろう者は、バスの運転士の資格を取ることができませんでした。
 ※3 聴者…聴覚に異常がなく、補聴器などを用いなくても聞き取りが可能な人。



しゅわ め み ことば げんご 手話は目で見る言葉(言語)です

しゅわ なに 手話って何？

手話は、指や体の動き、顔の表情などを使って目で見えるように表現します。
 手話は、ろう者にとって気持ちや考えを伝えたり、理解したりするための大切な言葉(言語)です。



にほんご しゅわ ぶんぽう ちが 日本語と手話の文法の違い

手話の表現では、日本語と語順が異なるなど、独自の文法があります。右の例だと「の・は」などを使っていません。

にほんご ひょうげん 日本語の表現

あなた/の/好きな/スポーツ/は/何ですか？

しゅわ ひょうげん 手話の表現

あなた/スポーツ/好き/何？

ろう者は、音を聞くことができず、音で表現する日本語の言葉や文法などを十分理解することが難しいため、長い文章による筆談では意味が伝わらないことがあります。

き 聞こえない人に あった会話の方法



	手話	指文字	筆談	口話	空書	身振り
ろう者	★★★★	★★★	★★	★★	★★	★★★
中途失聴者	★★	★★	★★★★	★★	★★★	★★
難聴者	★★	★★	★★★	★★	★★	★★
聴者	★	★	★★★★	★	★★★	★★

※口話…相手の口の動きで言葉を読み取ること。日本語には口の動きが同じでも、表しているものが異なる言葉がたくさんあるため、全てを読み取ることは難しいです(タバコとタマゴなど)。
 ※空書…紙やペンを使わず、指で空中に字を書くことです。
 ※上記はあくまで一例です(人によって会話の方法は様々なので、その人にあった方法での会話が必要です)。